

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 2年 1月 28日
契約業者名	(一財) 阪神高速道路技術センター
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路ネットワークの大規模解析モデルの構築に関する調査研究業務(その2)
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	解析オペレーション・・・1式 打合せ・資料作成・・・1式 データ収集・・・1式 モデル構築・・・1式 解析オペレーション・・・1式 報告書作成・・・1式
業務期間(自)	令和 1年 6月 12日
業務期間(至)	令和 2年 3月 31日
契約金額	47,630,000 円
変更金額	16,940,000 円 増
変更後の契約金額	64,570,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路ネットワークの大規模解析モデルの構築に関する調査研究業務（その2） 第1回変更

業務計画書第3章業務内容

3. 2. 2 データ収集

・(2) 図面資産データの抽出・整理

当初、全路線モデルを速やかに構築するために3. 2. 2 (1) で抽出するボーリングデータから簡易に各橋脚の基礎ばねを算出することを想定していたが、工程上、精緻な各橋脚の基礎ばねの算出も可能となったため、精緻に6路線の全橋脚の基礎ばねを算出することとし、基礎部の図面資産データの収集・整理を本業務に追加。

・(3) モデル構築の自動化に向けた資料収集・補助

別途実施している解析モデル構築の効率化を図るための学識者を含めた情報連絡会議と本業務で実施するモデル構築および解析が密接に関係しており、本業務実施の方向性およびモデル構築の効率化の議論をするため、当該会議に出席し、本業務に関する資料作成及び議事録作成を行うことを追加。また、解析モデル構築の効率化検討で用いるための阪神高速道路橋梁の下部構造図面およそ 10,000 枚を選定し、整理することを本業務に追加。

3. 2. 4 解析オペレーション

・(2) 画像認識による被災度区分判定補助検討

本業務の目的である防災・減災対策やBCPの更新に資する観点で、今後巨大地震が発生した場合に緊急点検時に撮影された写真から自動的に損傷判定を行うツールを開発することは、災害時の迅速な対応として有効である。本検討と本業務の成果が一体となって業務目的を達成すると考えられるため、画像認識による被災度区分判定を行うことを本業務に追加。

・(3) 大阪北部地震データ抽出

他業務で大阪北部地震の上部工各点の時刻歴加速度応答（4橋梁分）を用いた検討を早急に実施する運びとなった。上部工の時刻歴加速度応答は、過年度に作成した橋梁モデル4ケースを対象にした動画解析により得られるが、本業務の路線モデルを用いた解析に密接に関連するため本業務にて動画解析を実施し上部工各点の結果を抽出するもの。